

ベトナムでも急成長中の e スポーツ市場

世界で「e スポーツ」という言葉が使われ始めたのが 2000 年頃と言われています。大会の懸賞金で生活をするプロ選手も多く存在し、競技に参加するだけでなく、競技の様子をストリーミングやテレビ放送を通じて視聴することを楽しむ人も増えています。統計データ会社スタティスタによると、米国、東アジア(中国、韓国、日本)、欧州(ドイツ、英国)を中心に発展している e スポーツ市場は、2024 年には 43 億ドル(約 6,450 億円)に達する見込みです(スポーツベッティング部門 25 億ドルを含む)。日本も 2018 年頃から本格的に e スポーツ市場が盛り上がり始め、2019 年に 60 億円だった市場規模は 2022 年に 125 億円となり、2025 年には 220 億円に達すると予想されています(スポーツベッティングなし)。

さて、東南アジアでも高速インターネット網の普及に伴い、e スポーツが急成長を遂げています。2024 年の市場規模は東南アジア全体で 8,000 万ドル(約 120 億円)となる見込みで、各国の市場はフィリピン(2,200 万ドル)、タイ(2,000 万ドル)、インドネシア(970 万ドル)、シンガポール(800 万ドル)、ベトナム(580 万ドル)となっています。ベトナムの e スポーツ市場は年間約 10%と高い成長率を維持し、2028 年には 960 万ドルに達することが予想されています。

ベトナムでは 2009 年という早い時期に、e スポーツの管理団体であるベトナムエンターテイメント e スポーツ協会(VIRESA)が設立されました。協会の使命とビジョンとして、①国際基準に従った専門的な e スポーツを包括的、体系的、持続可能な形で構築する、②2024 年までにベトナムを東南アジア No.1、アジア地域 Top5 に入れる、③ベトナムを e スポーツの国際大会の開催地まで引き上げる、④e スポーツ＝一職業としての認識を高める、ことを挙げています。この VIRESA を中心として、ベトナムでも毎年 e スポーツの大会が開かれています。今年夏には大学生を対象とした大会が開かれ、全国の大学から 32 チームが参加しました。また、隔年で開催される SEA Games(東南アジア競技大会)では、2019 年以降、e スポーツが正式種目として採用されています。既に FPT や Vittel といった大手 IT・通信会社が e スポーツの市場開発に乗り出しており、今後さらなる成長が期待される業界の一つと言えるでしょう。

大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク

株式会社 NC ネットワーク (ベトナム: NC Network Vietnam JSC.)

日本事務所：東京都台東区東上野 1 丁目 1 4 番 5 号 ユーエムビル 8 階

ベトナム事務所：48, No.5 Street, Him Lam, Tan Hung Ward, District 7, Ho Chi Minh, VIET NAM